

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和6年3月29日

法人名	園名
社会福祉法人白ゆり会	キッズガーデン白ゆり

まとめ 全体平均 4.21

第2章第2節 乳児期の園児の保育	0歳児が1名だったため、保育者一人一人としっかりと関り、親密な信頼関係を築くことができた。他国の為食文化が違い、離乳食の進め方に相違があったが、栄養士とも距離が近く、離乳食から普通食への移行も園では適切に行えたと思う。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	2歳児は全員が在園児だったため、個々の成長を長期的に見て、発達段階に合った基本的な生活習慣を身につけることができるように丁寧に指導ができたと思う。1歳児は新入園児が多かった為、保護者の方とコミュニケーションをとりながら、個々に応じた対応をするように心がけた。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	0
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	4月～6月までは、熱や体調不良で欠席する子どもがとても多かった。慣らし保育についても、体調を優先し無理なく進めるようにした。
第3章 健康及び安全	今年は飼育・栽培に力を入れた。住宅街にあり、畑などはないが、プランターを活用したりして環境を整えた。みんなと楽しんで行う中で、名前・数・色・比較など、興味や関心をもち、育てているものは大きい。
第4章 子育ての支援	小規模保育園の良さを活かし、保護者の方と日々しっかりとコミュニケーションをとることができた。園での活動内容を保護者の方によりわかりやすく伝えるため、ドキュメンテーションで掲示するようにした。その際には必ず写真を添付し、子どものいきいきとした表情も見てもらえるようにした。
第5章 職員の資質向上	今年は昨年度よりオンラインでの研修に多く参加し、専門的知識を学ぶことができた。来年度も、様々な分野の研修に積極的に参加し、専門職としての資質を高めていきたい。
総合	昨年度までの主任が退職し、新たに職員を迎えることができた。明るく元気に保育を進めるようにしている。保育内容や理念などの勉強会を大切にし、デイリープログラムの読み合わせや話し合いなど折に触れ、持つようにしてきた。法人内での園内研修にも積極的に参加し、理念に添った保育ができるように心がけている。チームワークで子ども達、保護者に寄り添い、日々の保育を大切に行っている。 昨年度よりも研修への参加の機会を増やし、研修後には職員間で話し合いをし、共通理解ができるようにしている。来年度も、積極的に研修に参加し、専門職としての資質を高めていきたい。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.73
「3歳未満児保育」	32	4.31
「3歳以上児保育」	0	#DIV/0!
「教育保育の配慮事項」	16	4.00
「健康・安全」	29	4.17
「子育ての支援」	13	3.85
「職員の資質向上」	9	4.00
計	114	4.21

データグラフ

